

中国信息（W T O / F T A ・ 貿易 ・ 安全 ・ その他）

2007 年 10 月小麦市場観測情報については、中国農業部ホームページを通じ同年 11 月 13 日に発表されましたが、翌日になって同部ホームページ上から削除されたため、当機構としては、中国農業部によるその後の再発表に合わせるべく掲載のタイミングを図ってきたところです。しかし、当初の発表から 1 か月を経てなお再発表がないことや、発表内容が中国内外の関係機関の公表資料などにも掲載されていること等に鑑み、当機構としても「中国信息」の記事として掲載することとしました。

なお、この先、中国農業部から内容の変更等を伴う新たな発表があった場合には、事前の予告なしに本記事の内容について変更等を行うことがありますのでご留意願います。

2007 年 12 月 14 日号

◎2007年10月小麦市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年10月における小麦市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

1 北方の麦生産地の気象条件は冬小麦の播種出芽に良好、南方の一部では旱魃も

2007年10月は、全国で冬小麦の播種時期を迎えた。気象条件については、9 月下旬後期から10月上旬前期の西北地区中東部及び華北中南部、黄河・淮河（黄淮）地区東北部では雨天が連続し、土壌が水分を含みすぎて冬小麦の適時播種ができない状況となっている。10月下旬の北方の冬小麦生産地の大部分の土壌は水分が適当で、光熱も基本的に良好であり、冬小麦の播種出芽に好都合である。南方の大部分の地区では、秋になって降水量の少ない状態が続いており、安徽省、湖北省、江西省、広西チワン族自治区の一部地区では、程度の差はあれ旱魃が発生し、冬小麦やアブラナなどの適時播種及び若芽の生長に不利な状況にある。西南の大部分の地区では雨が多く、日照時間が不足したことから、麦の播種作業に一定の影響が出ている。

2 1～9月の小麦輸出は2倍近く増加、輸入は大幅減

海関統計によると、2007年9月の小麦輸出は増加し、輸入は引き続き減少した。当月の小麦輸出量は27.83万トンで、前月比15.42%増、前年同月比1.14倍増となった。輸入は0.3万トンで、前月比12.76%減、前年同月比95.36%減となった。今年前3四半期（1～9月）の小麦の累計輸出量は171.04万トンで、前年同期比1.93倍増となった。同じく累計輸入量は7.77万トンで、83.53%減となった。

3 2007/08年度の国内供給は比較的充足、国際在庫量は下落を続け最近32年来最低に

【国内市場】2007/08年度（2007年6月～2008年5月）の国内小麦は4年連続の豊作で、生産量は前年度に比べ小幅ながら増加すると予測されている。総消費量は前年度に比べやや増加、うち食用消費は基本的に安定とみられているが、国内畜産業の発展及びバイオマス加工需要などの影響を受け、飼料消費及び工業消費が比較的多くなると見積もられている。国際市場における食糧価格は引き続き高水準で、中国の小麦輸出市場は拡大し、小麦輸出量は増加するとみられている。今年度の国内小麦供給量は需要を満たし、小麦の期末在庫量は前年度に比べ若干増加すると予測されている。

【国際市場】最近何カ月かの旱魃など深刻な気候の影響を受け、オーストラリア、米国、EU、カナダなど主要な輸出国の生産量は減少すると予測されている。2007年10月の米国農務省（USDA）の予測によると、2007/08年度の世界の小麦生産量は、前月の予測に比べ引き続きマイナス修正となり、オーストラリアは前月予測に比べ750万トン、EUは107万トン、米国は128.7万トンのマイナス調整となった。同年度の世界の小麦生産量は60,047万トンで、前年度比739.3万トン増（1.25%増）と見積もられている。期首在庫量が減少したことから、同年度の世界の小麦総供給量は前年度比72,319万トン減（2.37%減）とみられている。

同じく世界の小麦消費量は、0.29%減の61,622万トンと予測されている。今年度に入り小麦の国際価格が高騰し続けていることから、小麦の飼料消費が抑制され、飼料用消費量は前年度比627万トン減（5.93%減）の9,953万トンと見積もられている。小麦の生産量が需要量より1,575万トン少ないことから、期末在庫量は1976/77年以来32年間で最低となる前年度比12.83%減の10,697万トンとみられている。これにより、小麦の在庫／消費比は前年度に比べ2.15ポイント減の17.36%と、1960/61年度以来最低の水準と予測され、国連食糧農業機関（FAO）の考える食糧安全警戒ライン（17～18%）にかなり近づくものとみられている。

また、世界の小麦価格の高騰は輸入国の需要を抑制し、貿易量は前年に比べ減少するとみられている。2007/08年度の世界の小麦輸入量は、前年度比932万トン減（8.3%減）の10,303万トン、輸出量は477万トン減（4.31%減）の10,580万トンと予測されている。世界第一の大麦、小麦輸出国である米国の輸出量は、世界の輸出量の20%以上を占めている

が、2003年以降、米国の小麦生産量は減少を続け、2007年の生産量は回復基調であるものの、期末在庫量及び在庫／消費比は1960/61年度以来最低の水準とみられている。今年に入り、小麦の国際価格は史上最高を更新し続け、米国の農民が小麦栽培に積極的になっていることから、2008年の米国の小麦播種面積は、今年に比べ356.7万エーカー（1エーカー＝4,046.86平米）増の6,400万エーカーと予測されている。

4 国内市場は基本的に安定、国際価格は引き続き上昇

（1）6～9月の新収穫麦（新麦）買付価格は安定しつつも強含み、国家最低買上価格総量は前年割れ

2007年の中国の夏糧（訳者注：夏に収穫される穀物で、ほとんどは冬小麦。他に大麦、燕麦、そら豆、エンドウなど）は、4年連続増産となった。市場価格の安定と農民の増産増収の実現を保障するため、国は2007年6月1日から河北省、河南省、山東省、江蘇省、安徽省などで2007年小麦最低買上価格試案を実行している。試案の実行は小麦市場の安定に有効に作用し、価格は安定しつつも強含みで推移している。市況を見ると、6～9月の白小麦の平均買付価格は、前年同期比7.41%高の100斤（約50kg：1斤＝約500グラム）当たり75.09元、紅小麦は1.61%高の69.13元、混合小麦は2.65%高の69.83元となった。

今年の新麦の市場流通以降、市場では多方面からの買い付けが積極的に行われたものの、一部の地区では農民が売り惜しみをしている。このため、今年の新麦の国家最低買上価格買付量は、前年同期に比べ大幅に減少した。統計によると、9月30日までの河北省、山西省、江蘇省、安徽省、山東省、河南省、湖北省、四川省、陝西省、甘粛省及び新疆ウイグル自治区の11か小麦主産省・自治区における各種食糧企業の新麦の累計買付量は、4,242.4万トンとなった。うち国有食糧企業はその85%を占める3,614.9万トン（前年同期比985.5万トン減）となった。最低買上価格小麦の買付量は2,894.9万トン（同1,198.2万トン減＝29.3%減）で、国有食糧企業の買付総量の80%を占めた。各地の最低買上価格小麦の買付進度の差は比較的大きく、江蘇省では582.4万トン（前年の同省における最低買上価格小麦買付総量の95.32%）、湖北省では194.6万トン（同97.3%）となった。その他、河南省では1,293.5万トン（同71.35%）、安徽省では501.6万トン（同80.64%）、河北省では196.1万トン（同40.27%）、山東省では126.7万トン（同35.1%）となった。

（2）市場供給は充足、小麦卸売価格は安定しつつもやや下落

国家最低買上価格小麦の競売は引き続き定期的に行われ、10月25日までに46回、計画競売総量4,264.3万トンに対し、実際の成約量は1,985.7万トンで、成約率は46.6%となった。8～9月に国が市場放出量を続々と増加させた結果、企業の食糧需要を基本的に満足させることができたものの、10月に行われた競売の成約量及び成約率は、上半期に

比べ明らかに低下した。また、9月13日から2007年最低買上価格小麦の競売が開始された。下半期の需要及び市場安定を目的として、国の関係部門は最低価格買上食糧の販売最低価格を適切に引き下げることとし、取引が成立していない2006年最低買上価格小麦の販売最低価格については1トン当たり20元引き下げ、白小麦の最低販売価格は1トン当たり1,480～1,490元、紅小麦及び混合小麦は同1,420～1,430元とされた。政策的調整及び需要の充足などから、10月の小麦価格は安定しつつもやや下落した。鄭州市（河南省の省都）の食糧卸売市場における普通小麦（一般品質の小麦）の卸売価格は、1トン当たり1,530元で、前月比0.81%安、前年同月比7.14%高となった。同じく優良小麦については1,633元で、前月比1.33%安、前年同月比0.68%高となった。

（３）国際小麦価格は識続き上昇、小麦の内外価格差はさらに拡大

【現物取引】10月の米国メキシコ湾における硬紅小麦（蛋白質含有量12%）の平均港湾価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり360.25ドルで、前月比2.2%高、前年同月比63.01%高となった。西北大西洋の硬紅春麦（蛋白質含有量14%）の平均FOB価格は同374.75ドルで、前月比10.38%高、前年同月比67.08%高となった。

【先物価格】10月のカンザス先物取引所における硬紅冬麦の平均先物価格は1トン当たり317.72ドルで、前月比1.6%高、前年同月比64.20%高となった。ミネアポリス先物取引所における硬紅春麦の平均先物価格は同317.60ドルで、前月比4.78%高、前年同月比71.23%高となった。

原油価格高騰により国際海上輸送費はさらに上昇し、10月の国際海上輸送費は1トン当たり114.5ドル（前月比18.96%高、前年同月比1.35倍高）にまで達したことに加え、小麦の国際市場価格が大幅に高騰し、国内小麦価格が安定しつつも下落したことから、小麦の内外価格差はさらに拡大した。関税、増値税及び港湾諸経費などを含め総合的に考慮すると、10月の米国メキシコ湾における硬紅冬麦（蛋白質含有量12%）の通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）は、同月の国内優良小麦の消費地における卸売価格に比べ、その価格差は前月よりも204元拡大した。